

2021年3月期 第2四半期 決算報告

2020年11月13日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス経営企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2021年3月期第2四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.8
● グループEEV	P.16
● 参考データ	P.22

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業		出資比率	決算期
DL	第一生命	100%	
DPL	第一フロンティア生命	100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命	100%	

海外生命保険事業			
PLC	プロテクトティブ	[米国] Protective Life Corporation	100% 1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100% 4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100% 1-12月
DLNM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9% 4-3月
POL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40% 1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%

アセットマネジメント事業			
AMOne	アセットマネジメントOne	49%(議決権) 30%(経済利益)	4-3月
JH	ジェナス・ヘンダーソン	Janus Henderson Group	16.5% 1-12月

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2020/9末	105.80円	124.17円	75.49円
2020/6末	107.74円	121.08円	73.88円
2020/3末	108.83円	119.55円	66.09円
2019/9末	107.92円	118.02円	72.88円
2019/6末	107.79円	122.49円	75.49円
2019/3末	110.99円	124.56円	78.64円

1.【営業業績】国内の新契約年換算保険料は△53%減少、営業自粛等の制約下で想定内の推移

- ・ DL・DFLはそれぞれ前年同期比△59%・△54%減少と想定内、NFLは+26%増加と前年同期を上回る
- ・ 海外は豪TALの団体保険の反動減等から△10%減少したが、米PLCは新型コロナの感染が拡大した4-6月期を含めて+5%増加

2.【新契約価値・EEV】新契約価値は△61%減少、EEVは金融市場の回復により+17%増加

- ・ 新契約価値は、DLが営業自粛の影響等から前年同期比△58%減少の238億円(給与補償等の除外を反映後)
- 海外は、米PLCにおける金利低下の影響や豪TALにおける反動減等から△80%減少の18億円
- ・ グループEEVは、金融市場の回復等から国内生保を中心に増加し、前期末比+17%増加の6兆5,628億円

3.【連結利益】DL・PLCの金融市場変動等の影響やDFLの準備金戻入の反動減により△54%減少

- ・ グループ修正利益は前年同期比△54%減少の841億円(進捗率47%)、連結純利益は△9%減少の833億円(同45%)
- ・ 国内は、DLが基礎利益増加も、金融派生商品損益の悪化から修正利益は△52%、DFLは準備金戻入の反動減から△51%減少
- DLの金融派生商品損益は、通期のキャピタル損益等を踏まえた上で、その損失の一部を株主還元の計算から除外することを検討
- ・ 海外の修正利益も△46%減少したが、米PLCが金融市場悪化等による1Q(1-3月期)の赤字から黒字化、豪TALは増益を確保

新型コロナに関連した保険金等のお支払いの状況

	死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
	件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	136件	約9.7億円	1,627件	約185百万円
海外グループ会社	2,297件	約98.3億円	145件	約21百万円

※2020年9月30日時点での利用分
海外グループ会社は9月末為替レート(TTM)にて円換算、再保険考慮後

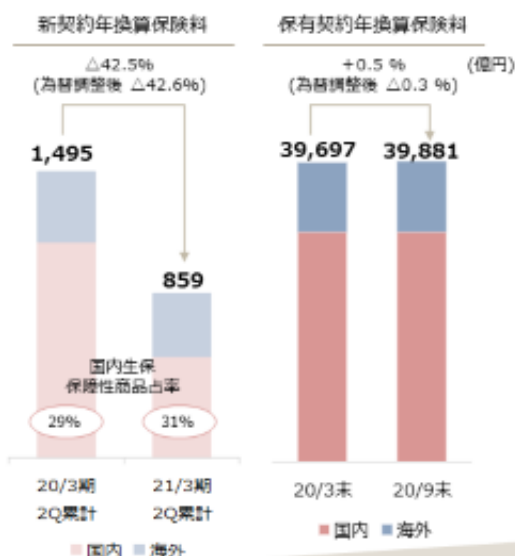
2

- 本日のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず、営業業績です。国内の新契約年換算保険料は、前年同期比△53%減少の529億円となりました。第一生命、第一フロンティア生命が大きな減少となりましたが、第一生命では、新型コロナ感染拡大に伴い営業活動を自粛した中で、8月にお示した見通しに沿った推移となりました。一方、ネオファースト生命は前年同期を上回りました。海外事業全体では△10%の減少となりましたが、プロテクトで販売が増加したほか、TALも前年同期の契約獲得からの反動の影響を除けば、概ね堅調な推移となりました。
- 次に、新契約価値・EEVです。新契約価値は、国内・海外ともに大きく減少しました。第一生命は、給与補償等の影響を除外したベースで、前年同期比△58%減少の238億円となりました。海外では、プロテクトにおいて米国金利低下の影響があり、△80%減少の18億円となりました。
- 一方、グループEEVは、金融市場の回復に伴い、前期末比+17%増加の6兆5,628億円となりました。
- 最後に、連結利益です。グループ修正利益は前年同期比△54%減少の841億円となりました。第一生命において、前期3月の大幅な金融市場の悪化に伴うヘッジポジションからの評価益が、今期は市場回復に伴って損失に転じたことや、第一フロンティア生命において、前期に危険準備金戻入益を大きく計上したこと、また、プロテクトにおいて、第1四半期にあたる1-3月期に赤字を計上したことが影響しています。なお、プロテクトは第2四半期には黒字化し、業績は改善基調にあります。
- なお、第一生命における今期のヘッジポジションからの損失計上は、前期の評価益を相殺する形にあることを踏まえ、今期の株主還元では、通期のキャピタル損益等を踏まえた上で、損失の一部を株主還元の計算から除外することを検討したいと考えています。
- 通期見通しについては、グループ修正利益の進捗率が47%となり、現時点で変更はありません。
- 次のページをご覧ください。

第2四半期決算のポイント – 営業業績

- 国内新契約は前年同期比△53%減少の529億円となったが、新型コロナ感染拡大に伴う営業自粛等の制約下で想定内の推移。今後の新型コロナの感染状況には留意が必要ではあるものの、DLは10月より本格的な営業活動を再開したほか、また、DFLも新商品(7月発売)が足元の販売量改善に寄与するなど、下期の営業業績は徐々に回復を見込む
- 海外では、米PLCが主力商品の販売が好調に推移し、豪TALも、前年同期の団体保険契約獲得からの反動減を除けば概ね堅調

新契約・保有年換算保険料の状況



	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同額比	20/3末	20/9末	前期末比
国内3社計	1,128	529	△53.1%	30,578	30,542	△0.1%
DL	427	173	△59.3%	21,104	20,817	△1.4%
3月第三分野	265	90	△65.9%	6,947	6,873	△1.1%
DFL	657	300	△54.4%	8,078	8,325	+3.1%
3月DFLチャネル販売	154	48	△68.5%			
NFL	43	55	+26.1%	1,395	1,399	+0.3%
3月NFLチャネル販売	17	29	+68.8%			
海外4社計	366	330	△9.9%	9,119	9,339	+2.4%
PLC	183	193	+5.1%	5,457	5,362	△1.8%
TAL ⁽¹⁾	87	44	△49.4%	3,024	3,316	+9.6%
DLVN	95	92	△3.0%	636	660	+3.8%
DUKH	0.0	0.2	+326.4%	0.3	0.4	+45.4%
第一生命グループ計	1,495	859	△42.5%	39,697	39,881	+0.5%

海外各社および合計の上段は円換算、下段は為替変動の影響を除く実化率

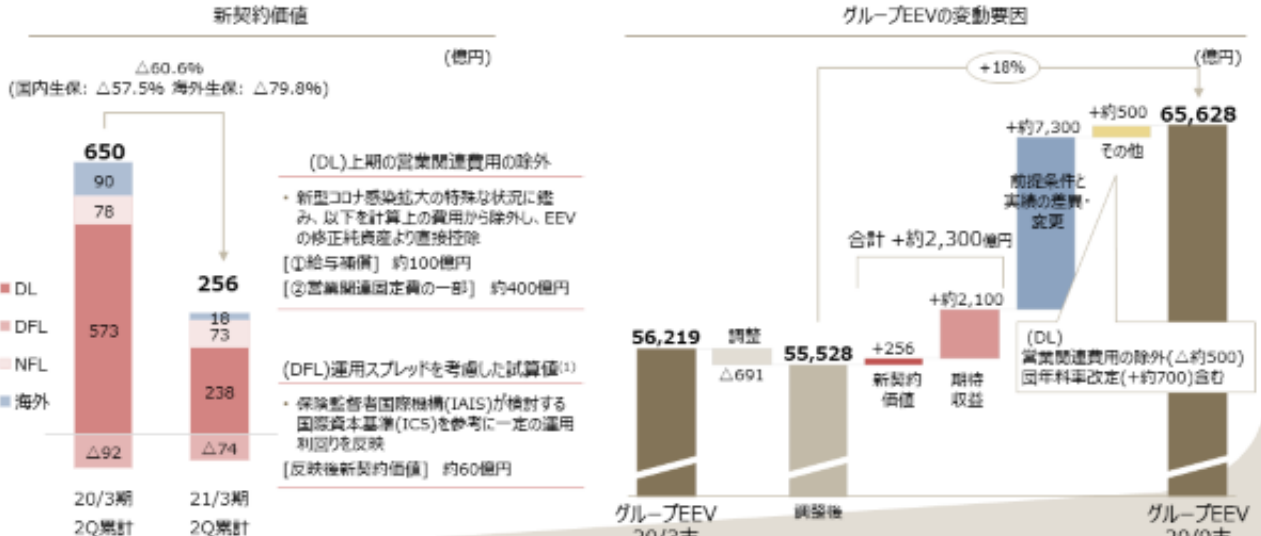
(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更し、過年度の数値も変更後の基準で記載しています

- ここから第2四半期決算のポイントを記載しています。
- まず、営業業績です。国内の新契約年換算保険料は、緊急事態宣言を受けた営業自粛をはじめとする活動の制約下で、前年同期比△53%減少しましたが、8月にお示した見通しに沿った推移です。一方、ネオファースト生命は、プロ代理店やテレマーケティング等を行う代理店での販売が好調に推移し、前年を上回る販売を確保しました。
- なお、第一生命では、これまで生涯設計デザイナーの営業活動に制限を設けておりましたが、10月より営業活動を本格的に再開しています。また、第一フロンティア生命では、7月発売の認知症や介護に備えた新商品の販売が好調であり、9月単月での保険料収入が前年同期比85%まで回復するなど、復調の兆しが見えています。引き続き、今後の新型コロナの感染状況には留意が必要ですが、下期の営業業績は徐々に回復を見込みます。
- 海外では、プロテクトや第一生命ベトナムについて、新型コロナ感染拡大の期間である4-6月期の業績を当社決算に取り込んでいますが、プロテクトは定期保険や定額年金の販売が好調に推移したほか、第一生命ベトナムも概ね堅調な推移となりました。TALも前年同期に獲得した団体保険契約からの反動減を除けば、個人保険はほぼ横這いで推移しています。
- 以上の結果、グループ全体の新契約年換算保険料は前年同期比△42%減の859億円と大幅に減少しましたが、保有契約の年換算保険料は前期末比ほぼ横這いで推移しています。
- 次のページをご覧ください。

第2四半期決算のポイント – 新契約価値・グループEEVの変動要因

- ▶ 新契約価値は、営業自粛の影響等によりDLが前年同期比△58%減少の238億円となったことを主因に、全体では△61%減少
海外は、DLVN(ベトナム)で増加したものの、米PLCにおける米国金利低下の影響や豪TALの団体保険の反動減等により減少
- ▶ グループEEVは、期待収益の実現に加え、金融市場の改善に伴う経済前提における実績との差異+約7,000億円の増加が大きく寄与
また、DLの団体年金一般勘定の料率改定を今回のEEVより反映

新契約価値・グループEEVの変動要因



(1) 第三者機関(アクチュアリー・フォーラム)による検証を受けていない試算値

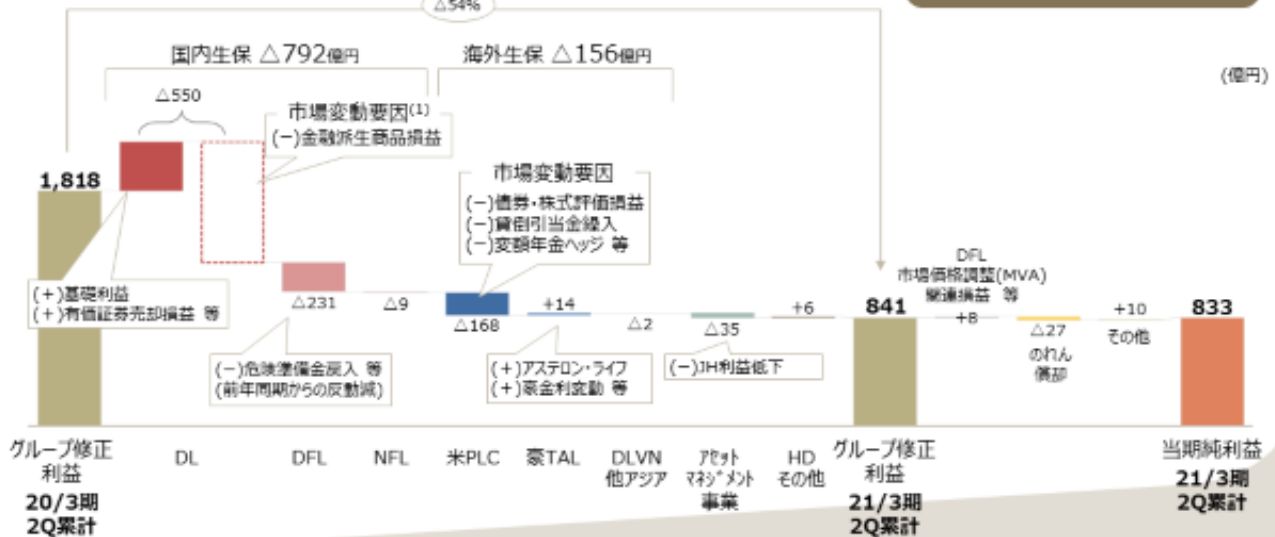
- 続いて、新契約価値・グループEEVについて説明します。
- 新契約価値は、営業自粛の影響等から販売量が減少した第一生命が前年同期比△58%の減少となったことを主因に、全体では△61%減少の256億円となりました。
- 第一生命における今期の新契約価値の計算では、新型コロナ感染拡大の特殊な状況に鑑み、生涯設計デザイナーに対する給与補償等に係るコストを除外することとしています。上期では約500億円を除外しています。なお、通期の新契約価値では、給与補償のうち下半期に支払われる部分である約100億円の除外が反映される見込みです。
- 第一フロンティア生命の新契約価値がマイナスとなっていますが、EEVにおける計算上では、資産運用の期待超過収益が新契約の獲得時には反映されずにリスクフリーレートによって評価されることから、社債等のスプレッドを超過収益の源泉とする同社の商品については、新契約価値が低く算出されてしまうことが影響しています。この超過収益は、契約期間の経過とともにEEVの増加に寄与すると期待されるため、実質的な新契約価値はプラスと考えています。運用スプレッドを考慮した新契約価値の試算値は約60億円であり、参考としてお示ししています。
- 海外では、米国金利の急激な低下によりプロテクティブの新契約価値が減少しています。このほか、第一生命ベトナムが前年同期比で増加したほか、TALにおいても、団体保険契約からの反動減の影響を除けば、プラスを確保しています。
- グループEEVは、既契約からの期待収益の実現に加え、国内金利の上昇や株式市場の改善等を背景に第一生命のEEVが前期末比+約7,000億円増加したことや、外国社債の含み益増加の影響で第一フロンティア生命のEEVが+約2,000億円増加したことなどから、大幅に増加しました。
- なお、第一生命のEEV増加には、先日公表した団体年金保険に係る一般勘定の料率改定を反映したことによる影響の+約700億円が含まれています。
- 次のページをご覧ください。

第2四半期決算のポイント – グループ修正利益・当期純利益

- ▶ グループ修正利益は、DL基礎利益の増加や豪TALの増益等があるものの、今期の金融市場の回復に伴い、DLで前期末に大幅な評価益を計上したヘッジポジションからの金融派生商品損益が1Qに損失に反転したことや、DFLにおける危険準備金戻入益の反動減、米PLCの1Q(1-3月期)における損益悪化から、前年同期比△54%減少の841億円
- ▶ 連結当期純利益は、DFLにおけるMVA関連損益のマイナスが前年同期から大幅に縮小も、△9%減少の833億円

グループ修正利益・変動要因

修正利益・当期純利益の差異



(1) 金融派生商品損益のほか、有価証券評価損および金融商品の売却運用損益の増減を合算しています

5

- グループ修正利益・当期純利益の状況を説明します。
- グループ修正利益は、第一生命やプロテクトにおける金融市場変動に伴う影響や、DFLの前年同期の一時的な増益要因からの反動減により、前年同期比△54%減少の841億円となりました。
- 第一生命では、これまで実施してきた既契約ブロックの出再に伴う予定利息の減少や、利息配当金等収入の増加により順ぎやが拡大し、基礎利益を押し上げました。一方で、デリバティブを活用したリスクヘッジポジションについては、今期の金融市場の回復を受け、第1四半期に多額の損失を計上しており、修正利益は前年同期比△550億円の減少となりました。
- 第一フロンティア生命の減益は、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入益が前年同期に一時要因として計上されたことからの反動減です。
- 海外では、1-6月期を当社決算に取り込むプロテクトにおいて、第1四半期(1-3月期)に計上された大幅な金融市場の悪化の影響等から、△168億円の減益となりました。しかしながら、同社は第2四半期(4-6月期)に黒字化しており、明日公表予定の第3四半期(7-9月期)においても堅調な業績が見込まれます。TALの増益は、買収したアステロン・ライフの貢献と豪州金利の変動によるものです。
- アセットマネジメント事業では、ジャナス・ヘンダーソンが第1四半期(1-3月期)の赤字から黒字化したものの、前年同期比では減益となっています。
- 連結純利益は833億円となりました。
- 次のページをご覧ください。



DLにおけるデリバティブ取引と金融派生商品損益の状況

- ▶ DLでは、資産運用ポートフォリオにおける経済価値ベースでの統合リスク量のコントロールや安定的な運用利回りの確保を目的に、現物資産の入替えによるポジション調整に加えてデリバティブを活用（基本的に、為替・株式市場等に対してショートポジションを保有）
- ▶ 前第4四半期は、3月の金融市場悪化に伴い多額の収益を計上したが、今期は市場が改善したため損失に反転
- ▶ 今期損失は前期の評価益を相殺する形にあるため、通期のキャピタル損益等を踏まえた上で、一部損失の株主還元計算からの除外を検討

デリバティブ取引(ヘッジ会計非適用)と
ヘッジ対象である現物資産の評価損益の関係

金融派生商品損益 (デリバティブ取引)		ヘッジ対象である 現物資産		主なデリバティブ取引(上段)と 取引目的(下段)		20/9末 保有ポジション ⁽¹⁾	20/2Q累計 金融派生商品損益	前期4Q 損益増減 ⁽²⁾
[未実現] 評価損益 (当期損益計上)	[未実現] 含み損益 (純資産直入)	[未実現] 評価損益 (当期損益計上)	[未実現] 含み損益 (純資産直入)	為替 関連	通貨オプション(ブット買建) 為替予約(売建) ・ 為替下落(円高)ヘッジ ・ ヘッジ外含み損益の包括ヘッジ ・ 通貨間リスク調整	[通貨オプション] 4,239億円 [為替予約] 6,691億円	△610	+557
				株式 関連	株価指数オプション(ブット買建) 株価指数先物(売建) ・ 国内/外国株価下落ヘッジ (株式リスク削減)	[円建株価指数オプション] 1,499億円 [円建株価指数先物] 49億円	△501	+207
実現損益 (取引ロール時の損益含む)	実現損益 (売却損益*)	実現損益 (取引ロール時の損益含む)	実現損益 (売却損益*)	金利 関連	円建金利スワップ(買建) ・ 固定金利受取/変動金利支払 ・ 国内金利低下ヘッジ(金利リスク削減) ・ 固定金利支払/変動金利受取 ・ 急激な国内金利上昇ヘッジ	4,540億円 17,100億円	△128	+124
				[その他累計]		△1,262	+1,030	

原則的に評価損益は互いに±反対方向への動きとなり、ヘッジ対象の実質的な経済価値にはニュートラル

[ヘッジ取引終了時の損益認識]
・ デリバティブ取引のみを終了する場合
(金融派生商品損益を会計上認識)
・ ヘッジ対象の現物資産の売却と併せて損益を実現する場合
(金融派生商品損益と売却損益*を会計上認識)

原則的に評価損益は互いに反対方向への動きとなり、
ヘッジ対象の実質的な経済価値にはニュートラル

[ヘッジ取引終了時の損益認識]

- ・ デリバティブ取引のみを終了する場合
(金融派生商品損益を会計上認識)
- ・ ヘッジ対象の現物資産の売却と併せて損益を実現する場合
(金融派生商品損益と売却損益*を会計上認識)

(1) 売建・買建ネット後の契約総額 (2) 前第3Q(12月)～4Q(3月)までの金融派生商品損益の増減総額

- ここでは、第一生命のデリバティブ取引と金融派生商品損益について補足しています。
- 第一生命では、資産運用ポートフォリオにおける経済価値ベースでの統合リスク量のコントロールや安定的な運用利回りの確保を目的に、現物資産の入替えによるポジション調整に加えてデリバティブの活用を行っています。
- 保有するポジションは、主に、現物資産に関わる為替や株価変動といった市場関連リスクをヘッジするために金融市場に対するショートポジションです。その損益は、ヘッジ対象である現物資産の含み損益と反対方向への動きとなりますから、経済価値ベースでは実質的にニュートラルとなります。なお、デリバティブでは、このほか国内の金利変動リスクに対するスワップション等を保有しています。
- その結果、3月に急激な金融市場変動が発生した前期は、多額の評価益が金融派生商品損益として計上されたことから、前期の株主還元では、発生した利益の一部を特例的に株主還元の計算から除外しました。一方、今期は期初より市場改善が続いたことなどから、同じヘッジポジションから会計期間を跨いでほぼ同額の損失が発生する状況となっています。
- 最終的には通期の金融派生商品損益、売却損益等のキャピタル損益を踏まえて判断する必要がありますが、今期の損失は前期に発生した利益を実質的に相殺しており、通期の株主還元においては、前期とは反対に、特例的に損失の一部をグループ修正利益から除外して株主還元を計算することを検討したいと考えています。
- 次のページをご覧ください。

グループ連結主要業績および2021年3月期業績予想

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	36,561	33,631	△ 2,930	△ 8%	52%	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	18,070	17,821	△ 249	△ 1%	51%	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	12,404	8,589	△ 3,814	△ 31%	62%	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	6,378	4,938	△ 1,440	△ 23%	50%	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	2,792	3,326	+ 534	+ 19%	58%	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	1,937	1,628	△ 308	△ 16%	45%	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	1,976	1,193	△ 783	△ 40%	40%	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 384	300	+ 685	-	75%	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	305	112	△ 192	△ 63%	51%	577	220	△ 357	△ 62%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	69	98	+ 29	+ 42%	90%	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益⁽²⁾	917	833	△ 84	△ 9%	45%	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	1,063	512	△ 550	△ 52%	35%	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 412	231	+ 644	-	83%	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	246	90	△ 156	△ 63%	50%	463	180	△ 283	△ 61%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	43	63	+ 19	+ 44%	90%	154	70	△ 84	△ 55%
グループ修正利益	1,818	841	△ 977	△ 54%	47%	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
					1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益 ⁽³⁾	2,689	2,865	+ 175	+ 7%	60%	5,463	4,800程度	△ 663	△ 12%
第一生命	2,037	2,302	+ 264	+ 13%	58%	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

(1) 米プロテクトおよび米TALの数は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示
(換算基準) 米プロテクト: 1米ドル=107.75円(20/3期2Q)、109.56円(20/3期通期実績)、107.74円(21/3期2Qおよび通期予想)
米TAL: 1米ドル=72.88円(20/3期2Q)、66.09円(20/3期通期実績)、73.88円(通期予想)、75.49円(21/3期2Q)

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益

(3) 第一フロンティア生命における21/3期1Qからの基礎利益の計上基準の金額に準じ、過年度の数値は変更後の基準で記載しています

- 最後に、通期の業績予想です。
- グループ修正利益は通期予想の1,800億円程度に対して47%の進捗率であるほか、その他の損益項目も概ね巡航速度となっています。
- 個社別では、予算超過ペースの進捗も見られますが、現時点で通期見通しに変更はありません。
- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

グループ各社の業績概要

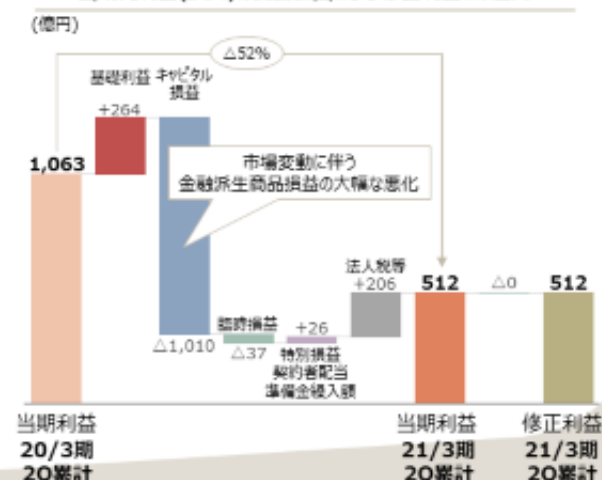
- ▶ 基礎利益は、順さやの増加を主因に前年同期比+13%増加の2,302億円
- ▶ 修正利益は、前期末からの金融市場反転等を受け、金融派生商品損益が大きく悪化したことなどから、△52%減少の512億円

単体業績

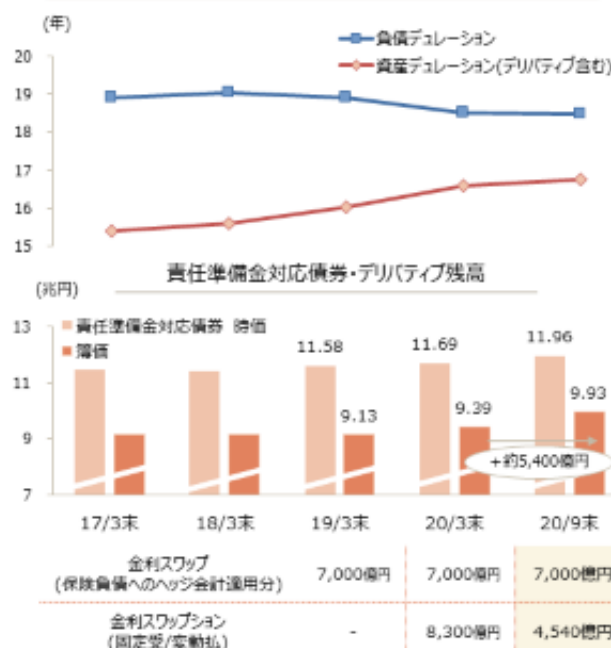
(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749	△ 6%
基礎利益	2,037	2,302	+ 264	+ 13%
固定費	469	825	+ 355	+ 76%
保険関係損益	1,567	1,476	△ 91	△ 6%
キャピタル損益	317	△ 692	△ 1,010	
有価証券売却損益	823	888	+ 65	
金融派生商品損益	139	△ 1,262	△ 1,401	
為替差損益	△ 409	△ 264	+ 234	
有価証券評価損	△ 142	△ 79	+ 63	
臨時損益	△ 378	△ 416	△ 37	
新規追加責任準備金繰入額	△ 377	△ 376	+ 1	
危険準備金繰入(△)/繰入額(+)	-	△ 32	△ 32	
経常利益(損失)	1,976	1,193	△ 783	△ 40%
特別損益	△ 87	△ 101	△ 14	
価格変動準備金繰入(△)/繰入額(+)	△ 85	△ 85	-	
契約者配当準備金繰入額	△ 409	△ 368	+ 41	
法人税等合計	△ 416	△ 210	+ 206	
当期純利益(損失)	1,063	512	△ 550	△ 52%

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	1,063	512	△ 550	△ 52%

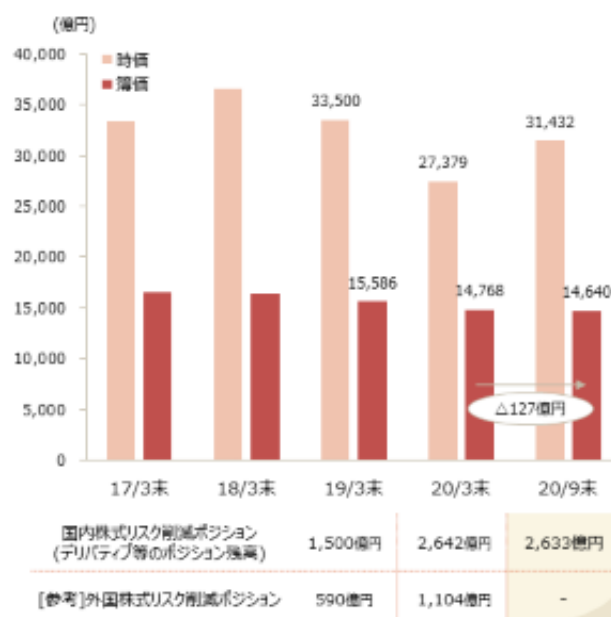
当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



デュレーションと責任準備金対応債券の積み増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理部分の保険負債と円建て固定利付資産(金利スワップを含む)の会計上のデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高(責任準備金対応債券とは、保険会社追加に認められた部分で、一定の要件を満たせば償還原価法による評価が認められているものを指します)

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式を除く) 20/9末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式を除く)の簿価残高は1,034億円

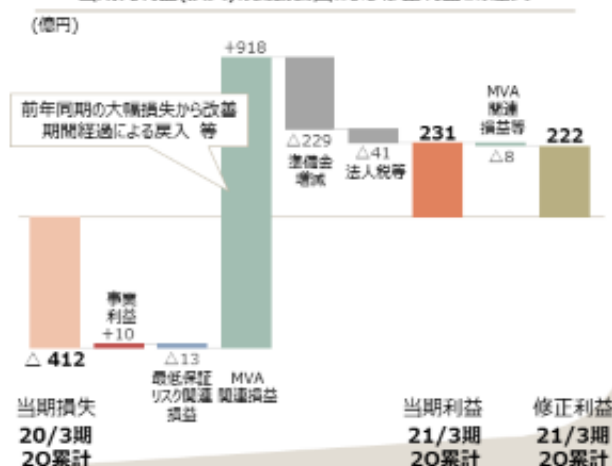
- ▶ 事業利益は、債券売却益の増加もあり、前年同期比+3%増加の364億円、MVA関連損益の改善等により、当期利益は231億円
- ▶ 修正利益は、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入の反動減により、△51%減少の222億円

単体業績

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	7,081	3,968	△ 3,112	△ 44%
基礎利益⁽¹⁾	276	283	+ 7	+ 3%
戻り・保険料低減等(事業利益項目)	252	252	+ 0	
最低保証関連損益(責任準備金増減等)	23	31	+ 7	
キャピタル損益	△ 614	202	+ 816	
最低保証関連損益(ヘッジ損益)	△ 31	△ 52	△ 20	
MVA関連等関連損益	△ 1,233	△ 167	+ 1,066	
その他キャピタル損益(事業利益項目)	651	422	△ 229	
臨時損益	△ 46	△ 185	△ 139	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	233	3	△ 230	
MVA関連等関連損益	269	120	△ 148	
その他臨時損益(事業利益項目)	△ 550	△ 310	+ 239	
経常利益(損失)	△ 384	300	+ 685	-
特別損益	△ 28	△ 28	+ 0	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 28	△ 28	+ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 41	△ 41	
当期純利益(損失)	△ 412	231	+ 644	-
事業利益⁽²⁾	354	364	+ 10	+ 3%
最低保証リスク関連損益	△ 7	△ 21	△ 13	
市場価格調整(MVA)関連損益	△ 964	△ 46	+ 918	
危険準備金/価格変動準備金、税金	205	△ 65	△ 270	

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	454	222	△ 231	△ 51%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



- (1) 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨準備資産増減に起因する為替スワップ及び金利スワップ取引に係る
受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の借付等により生じる影響額についてはキャピタル損益より組み替えています
- (2) 純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的収益力を表す内部管理指標

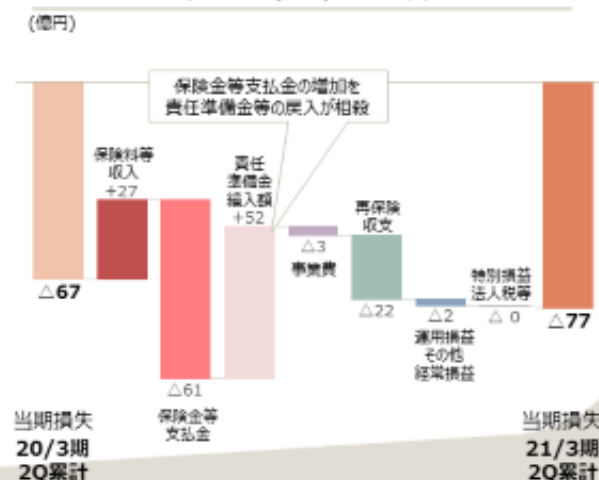
- ▶ 新契約拡大に伴い保険料等収入は前年同期比+4%増加
- ▶ 保険金等支払(主に解約返戻金)が増加したものの、責任準備金等の戻入が相殺した結果、当期純利益は△77億円

単体業績

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	635	663	+27	+4%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△32	△93	△61	
保険金・年金・給付金	△17	△25	△8	
解約返戻金・その他返戻金	△15	△68	△53	
責任準備金等繰入額	△487	△434	+52	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△2	△1	+0	
事業費	△125	△129	△3	
再保険収支	△55	△78	△22	
資産運用損益・その他経常損益	△2	△4	△2	
資産運用損益	0	1	+0	
その他経常損益	△2	△5	△2	
経常利益(損失)	△67	△77	△9	-
特別損益	△0	△0	△0	
法人税等合計	△0	△0	-	
当期純利益(損失)	△67	△77	△9	-
基礎利益	△65	△75	△10	-

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	△67	△77	△9	-

当期純利益(損失)の変動要因



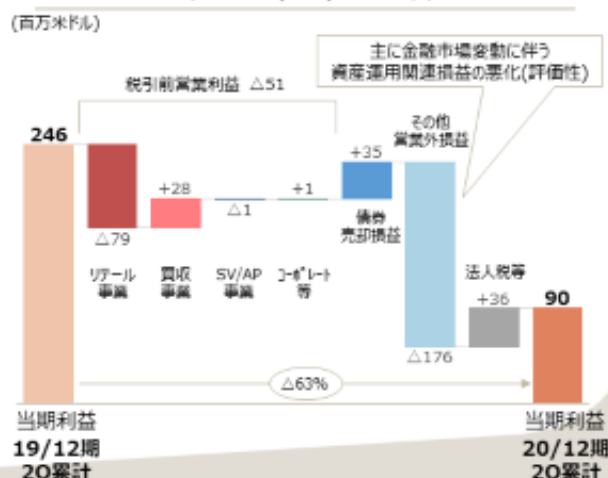
- ▶ 営業利益は、リアル事業における保険金支払増加に伴う損益悪化により、前年同期比△19%減少の222百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、1Q(1-3月期)に計上した金融市場変動に伴う債券評価損や商業モーゲージローンに対する貸倒引当金繰入等の負担により、前年同期比△63%減少の90百万米ドル (現地時間11/13午後7-9月期の決算公表を予定)

単体業績

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	2,087	2,911	+ 24	+ 1%
税引前営業利益 ⁽¹⁾	274	222	△ 51	△ 19%
リアル保険年金 ⁽²⁾	100	20	△ 79	△ 80%
買収	144	173	+ 28	+ 20%
ステーブルバリュー(SV)	50	41	△ 8	△ 17%
アセットプロテクション(AP)	18	25	+ 6	+ 35%
コーポレート等	△ 40	△ 38	+ 1	-
営業外損益(償却調整後)	30	△ 110	△ 141	
債券売却損益	6	41	+ 35	
債券評価損・株式評価損益等	34	△ 70	△ 104	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	0	△ 99	△ 99	
修正共同保険式再保険に關する損益	28	68	+ 39	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	△ 69	△ 164	△ 95	
営業外損益に係るDAC等償却の増減	31	114	+ 83	
法人税等	△ 58	△ 21	+ 36	
当期純利益	246	90	△ 156	△ 63%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	265	97	△ 168	△ 63%
決算為替レート(対円)	107.79	107.74	△ 0.05	△ 0%

(億円)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	265	97	△ 168	△ 63%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
(2) 20/12期1Qより報告セグメントの変更を行っており、旧「生命事業」と「年金事業」を統合しています

- ▶ 基礎的収益力は、アステロン・ライフの貢献を主因に前年同期比+34%増加の66百万豪ドル
特定団体における保険金支払増加の影響を大きく受けているものの、10月より料率改定(料率引き上げ)を実施
- ▶ 当期純利益は、上記に加えて金利変動によるプラス寄与が加わり、+44%増加の63百万豪ドル

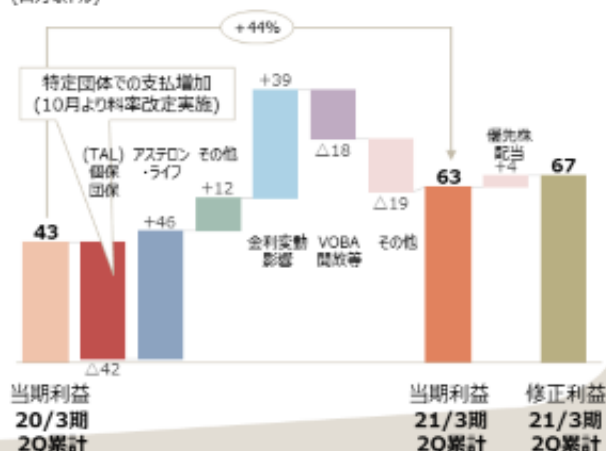
単体業績

(百万豪ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	2,513	2,899	+ 385	+ 15%
基礎的収益力(税引後)	49	66	+ 17	+ 34%
個人保険	66	62	△ 4	△ 6%
団体保険	15	△ 22	△ 38	-
アステロン・ライフ	△ 5	41	+ 46	-
その他(基時的項目)	△ 27	△ 14	+ 12	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 5	△ 3	+ 2	
金利変動に伴う資産・負債負債の変動	△ 6	33	+ 39	
VOBAの開放等	30	12	△ 18	
優先株配当等	△ 9	△ 8	+ 0	
その他	△ 20	△ 40	△ 20	
当期純利益(損失)	43	63	+ 19	+ 44%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	32	47	15	+ 49%
決算為替レート(対円)	72.88	75.49	2.61	+ 4%

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	36	51	+ 14	+ 41%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異

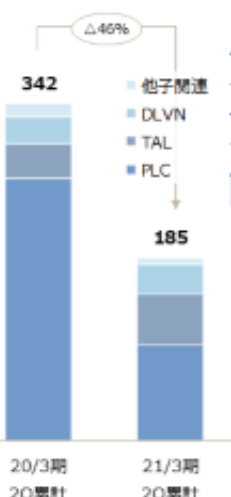
(百万豪ドル)



- ▶ 海外生保事業の修正利益は、豪TALやDLVN(ベトナム)が増益となったものの、米PLCの減益や設立間もないDLKH(カンボジア)やDLMM(ミャンマー)の費用負担等もあり、全体で前年同期比△46%減少の185億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、JHが1Q(1-3月期)に無形固定資産等の減損損失を計上したことが影響し、△62%減少の21億円

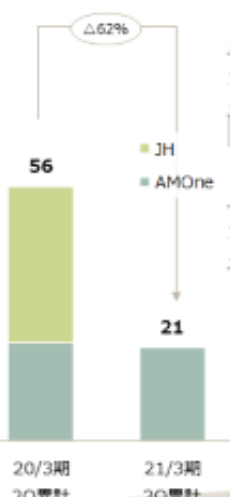
海外生命保険事業 修正利益合計

アセットマネジメント事業 修正利益合計



(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減(%)
PLC ⁽¹⁾	265	97	△ 63%
TAL	36	51	+ 41%
DLVN ⁽¹⁾	27	31	+ 15%
他子関連 ⁽¹⁾	12	6	△ 52%
	342	185	△ 46%

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・POL・OLJの5社



(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減(%)
AMOne	21	20	△ 4%
JH ⁽¹⁾	34	0	△ 98%
	56	21	△ 62%

[参考] 預り運用資産(億円)

	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減(%)
AMOne	53	54	+ 3%
JH ⁽¹⁾	38	36	△ 6%

※AMOne・JHは当社の持分法適用関連会社

グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- ▶ グループEEVは、金融市場の回復等から国内生保を中心に増加し、前期末比+9,408億円(+17%)増加の6兆5,628億円
- ▶ 新契約価値は、販売量が減少したDLが前年同期比△334億円減少したことを主因に、△394億円(△61%)減少の256億円
新契約マージンは、DLにおける販売量の減少や海外金利の低下等によるDFL・米PLCのマージン悪化が影響し低下

(億円)	20/3末	20/9末	増減
第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	57,613	66,415	+8,802
修正純資産	66,293	69,814	+3,520
保有契約価値	△ 8,680	△ 3,399	+5,281
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 1,393	△ 786	+606

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値 (A)	650	256	△ 394
収入保険料現価 (B)	21,583	13,900	△ 7,682
新契約マージン (A/B)	3.02%	1.84%	△ 1.17pts

- (1) 対象事業(covered business)とは、EEV算出で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV算出では、対象事業のEEVを算出することを求めています。
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、泰TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました。
- (2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(20/3末:12,502億円、20/9末:13,058億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(20/3末:△14,462億円、20/9末:△14,505億円)、第一生命ホールディングスが保有する貸借・負債を時価評価する調整が含まれます。

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

グループ各社(国内)のEEV

	(億円)				(億円)		
第一生命	20/3末	20/9末	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	
EEV	42,964	49,928	+6,963	新契約価値	573	238	△ 334
修正純資産	56,310	57,439	+1,128	収入保険料現価	9,503	5,841	△ 3,662
保有契約価値	△ 13,346	△ 7,511	+5,835	新契約マージン	6.03%	4.09%	△ 1.95pts
第一フロンティア生命	20/3末	20/9末	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	
EEV	1,912	4,145	+2,233	新契約価値	△ 92	△ 74	+17
修正純資産	3,782	5,382	+1,599	収入保険料現価	6,411	2,873	△ 3,538
保有契約価値	△ 1,870	△ 1,236	+633	新契約マージン	△ 1.44%	△ 2.60%	△ 1.15pts
EEVに一定の運用利回り を反映した試算値 ⁽¹⁾	約4,700	約5,400	約+700	新契約価値に一定の運用 利回りを反映した試算値 ⁽¹⁾	-	約60	-
ネオファースト生命	20/3末	20/9末	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	
EEV	1,147	1,553	+406	新契約価値	78	73	△ 5
修正純資産	45	271	+226	収入保険料現価	653	705	+52
保有契約価値	1,102	1,282	+180	新契約マージン	12.08%	10.46%	△ 1.62pts
				新契約価値*	104	97	△ 7
				新契約マージン*	15.99%	13.78%	△ 2.21pts

*均等事業費ベース

(1) 第一フロンティア生命については、保険監督者国際機構(IAIS)が検討する国際資本基準(ICCS)を参考に一定の運用利回りを反映した試算値を記載しています
当該試算値は、第三者機関(アクチュアリー・ファーム)による検証を受けていないため、今後の検証の結果では水準が変動する可能性があります

グループ各社(海外)のEEV

(億円)				(億円)			
米プロテクト	19/12末	20/6末	増減	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減	
EEV	7,653	6,340	△ 1,313	新契約価値	△ 3	△ 63	△ 59
修正純資産	4,104	4,374	+ 269	収入保険料現価	3,285	3,211	△ 74
保有契約価値	3,549	1,965	△ 1,583	新契約マージン	△ 0.12%	△ 1.98%	△ 1.87pts
※為替レート (円/米ドル)	109.56	107.74		※為替レート (円/米ドル)	107.79	107.74	
豪TAL	20/3末	20/9末	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	
EEV	3,172	3,686	+ 513	新契約価値	58	39	△ 18
修正純資産	1,788	2,076	+ 287	収入保険料現価	1,342	846	△ 495
保有契約価値	1,384	1,609	+ 225	新契約マージン	4.33%	4.62%	+ 0.30pts
※為替レート (円/豪ドル)	66.09	75.49		※為替レート (円/豪ドル)	72.88	75.49	
第一生命ベトナム	19/12末	20/6末	増減	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減	
EEV	944	955	+ 11	新契約価値	36	42	+ 6
修正純資産	443	465	+ 22	収入保険料現価	385	421	+ 36
保有契約価値	500	490	△ 10	新契約マージン	9.49%	10.16%	+ 0.67pts
※為替レート (円/越盾)	0.0047	0.0046		※為替レート (円/越盾)	0.0046	0.0046	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度(2020年9月末)

第一生命グループ

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率)

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV	対象事業以外の 純資産等に係る調整	新契約価値	[対象事業のEEV感応度の内訳]	
					修正純資産	保有契約価値
リスクフリー・レート50bp上昇	2,812 4%	2,756 4%	56 0%	66 26%	△ 15,619 △ 24%	18,375 28%
リスクフリー・レート50bp低下	△ 3,898 △ 6%	△ 3,840 △ 6%	△ 58 △ 0%	△ 79 △ 31%	17,093 26%	△ 20,933 △ 32%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,469 △ 7%	△ 4,308 △ 7%	△ 160 △ 0%	△ 0 △ 0%	△ 4,142 △ 6%	△ 165 △ 0%
第一生命グループのEEV	65,628	66,415	△ 786	256		

第一生命

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率)

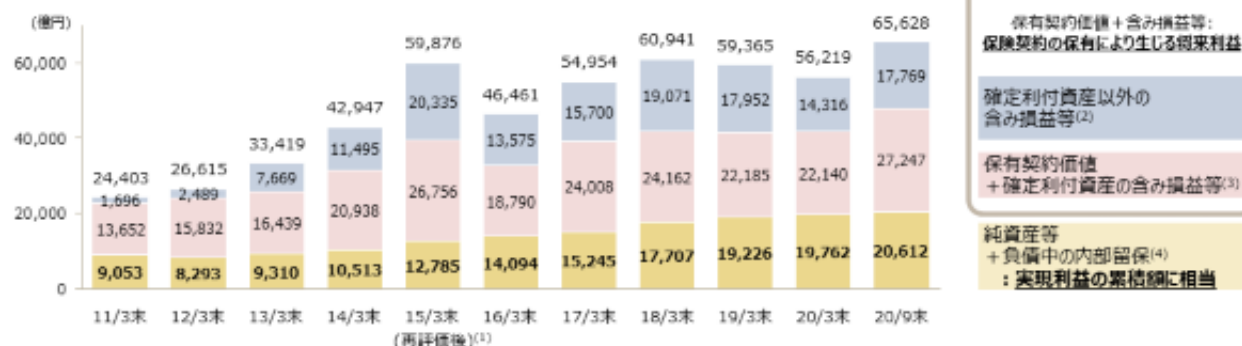
前提条件	EEV感応度	新契約価値	[EEV感応度の内訳]	
			修正純資産	保有契約価値
リスクフリー・レート50bp上昇	2,507 5%	49 21%	△ 13,815 △ 28%	16,323 33%
リスクフリー・レート50bp低下	△ 3,574 △ 7%	△ 60 △ 25%	15,165 30%	△ 18,739 △ 38%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,264 △ 9%	-	△ 4,264 △ 9%	-
第一生命のEEV	49,928	238		

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	20/3末	20/9末	増減	(億円)	20/3末	20/9末	増減
第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408	第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408
対象事業(covered business)のEEV	57,613	66,415	+8,802	確定利付資産以外の含み損益等 ⁽²⁾	14,316	17,769	+3,453
修正純資産	66,293	69,814	+3,520	保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽³⁾	22,140	27,247	+5,106
保有契約価値	△ 8,680	△ 3,399	+5,281	純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁴⁾	19,762	20,612	+849
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,393	△ 786	+606				

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



(1) 経理会計を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(3) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDPLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に因り、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります

(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

参考データ

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)



営業職数および生産性



(1) 各期の新契約価値を分子、営業職数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算

(2) 営業職については、DLO兼任契約を結ぶ生命保険募集人登録している者のみ、その他補助的業務に従事する者を除く

(3) 所定の成績水準を満たす正課設計デザイナーにライブプロフェッショナル職を附加した、DLO中核たる営業職の占率、横行基準により18/3末より掲載



[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	3,885	4,120	+ 235	+ 6%
公社債	1,401	1,364	△ 37	△ 3%
株式	371	284	△ 86	△ 23%
外国証券	1,362	1,529	+ 167	+ 12%
その他の証券	125	352	+ 227	+ 182%
貸付金	207	191	△ 15	△ 8%
不動産	374	368	△ 6	△ 2%

[参考] 20/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	7,865	332,325	2.37%
公社債	2,788	154,237	1.81%
株式	735	15,740	4.68%
外国証券	2,872	97,580	2.94%
その他の証券	222	7,769	2.87%
貸付金	408	23,996	1.70%
不動産 ⁽²⁾	753	8,049	9.36%

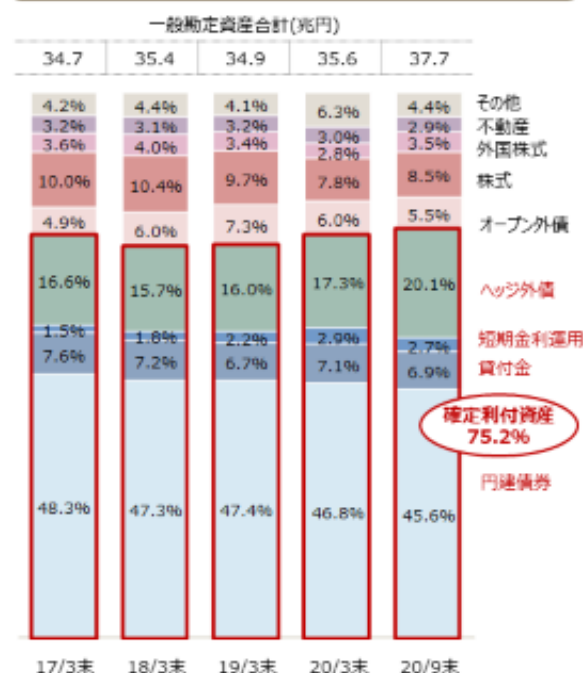
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却損益	1,081	1,319	+ 237	+ 22%
公社債	560	426	△ 134	△ 24%
株式	307	236	△ 71	△ 23%
外国証券	201	647	+ 445	+ 221%
その他の証券	11	8	△ 2	△ 20%
有価証券売却損	258	430	+ 172	+ 67%
公社債	0	3	+ 2	+ 853%
株式	30	10	△ 20	△ 67%
外国証券	219	279	+ 59	+ 27%
その他の証券	7	137	+ 129	+ 1,700%
有価証券売却損益	823	888	+ 65	+ 8%
有価証券評価損	142	79	△ 63	△ 44%
公社債	-	-	-	-
株式	44	46	+ 2	+ 5%
外国証券	98	32	△ 65	△ 67%
その他の証券	-	-	-	-

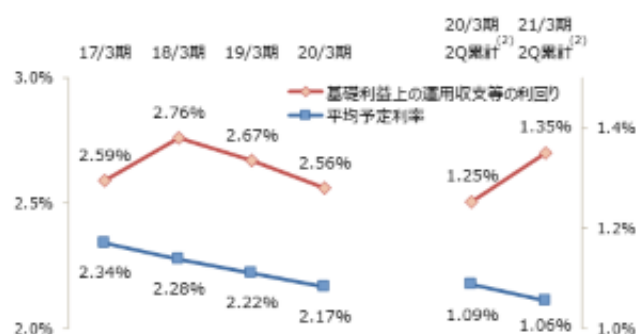
(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
 (2) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

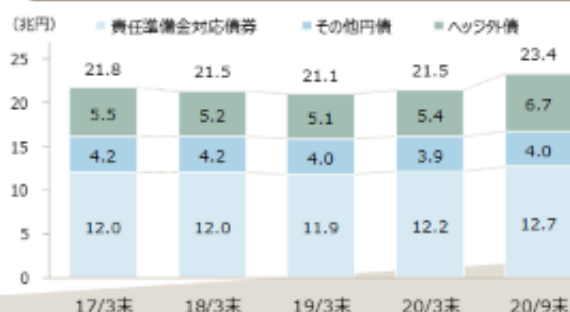
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



資産運用利回りと平均予定利率



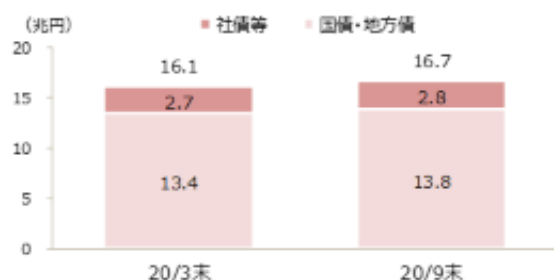
確定利付資産における債券積み増し状況⁽³⁾



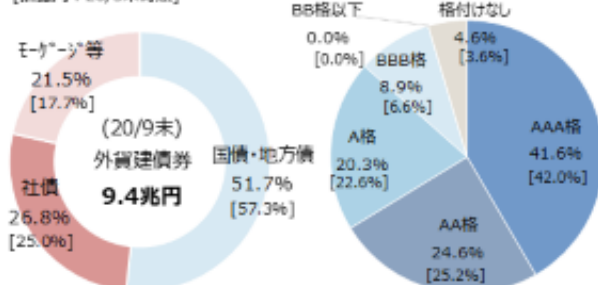
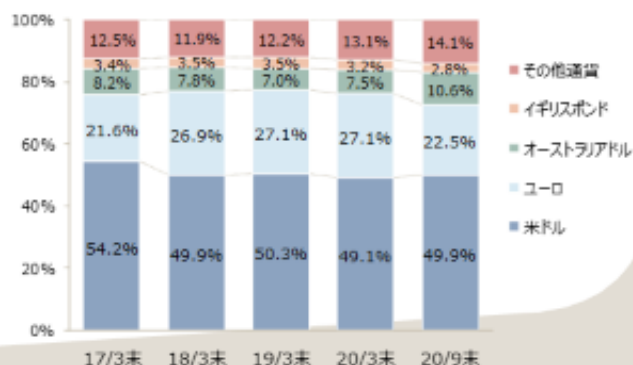
(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 決算対象期間における基礎利益上の運用収支等・予定利率に対する利回り・利率
(3) 簿価ベース



[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾国債の残存期間別残高⁽²⁾ (20/9末)外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (20/9末)

[括弧内: 20/3末時点]

外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾

(1) 簿価ベース

(2) 貸借対照表価額ベース

(3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の採用。モータージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 - 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	20/3末	20/9末	前期末比	(%)
有価証券	54,238	57,828	+ 3,589	+ 7%
国内債券	32,216	28,979	△ 3,236	△ 10%
国内株式	12,611	16,791	+ 4,180	+ 33%
外国債券	8,643	10,652	+ 2,008	+ 23%
外国株式	523	1,274	+ 750	+ 143%
不動産	3,326	3,448	+ 122	+ 4%
その他共計	58,021	61,618	+ 3,597	+ 6%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

国内債券
10年国債利回り10bpの変動で
2,800億円の増減※
(2020年3月末: 2,700億円)
※その他有価証券区分: 200億円の増減
(2020年3月末: 300億円)

国内株式
日経平均株価1,000円の変動で
1,300億円の増減
(2020年3月末: 1,400億円)

外国証券
ドル/円1円の変動で
270億円の増減
(2020年3月末: 250億円)

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

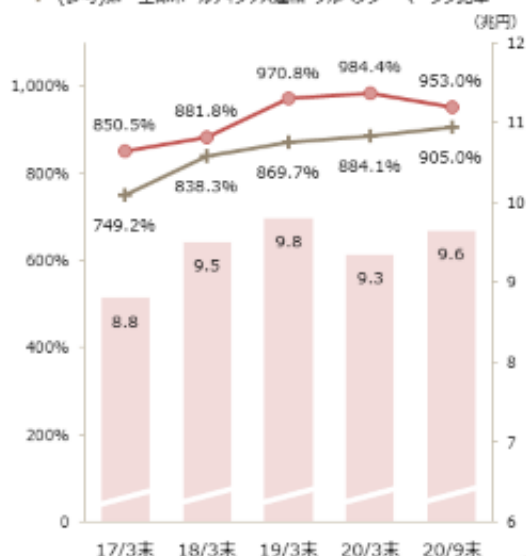
国内債券
10年国債利回り 1.0%※
(2020年3月末: 1.2%)
※その他有価証券区分: 1.5%
(2020年3月末: 1.5%)

国内株式
日経平均株価 ¥10,800
(2020年3月末: ¥10,200)

外国証券
ドル/円 \$1 = ¥107
(2020年3月末: ¥111)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

第一生命単体 実質純資産額(右軸)
第一生命単体 ソルベンシー・マージン比率
第一生命ホールディングス連結 ソルベンシー・マージン比率

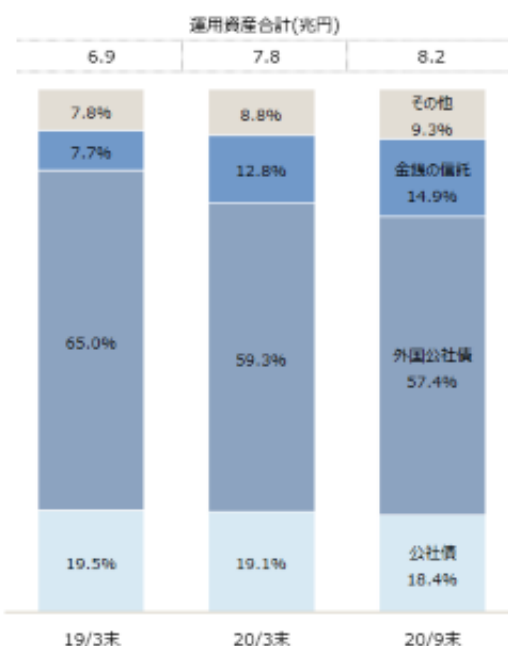


(1) 各指標に対応する資産の時価総額の割合

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した。為替変動のみ含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

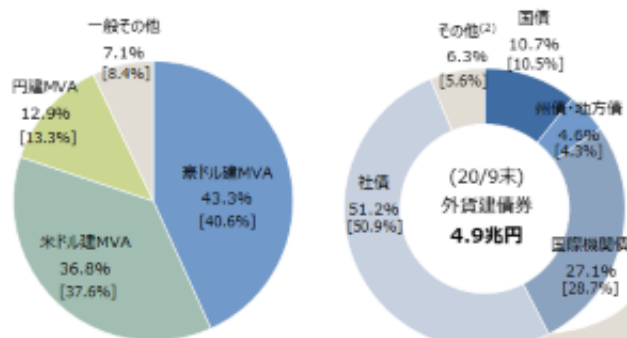


保有目的区分別有価証券の状況 (20/9末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	31,537	34,948	+ 3,410
その他の有価証券	29,512	32,800	+ 3,287
公社債	4,224	4,418	+ 193
外国証券	23,581	26,517	+ 2,936
その他の証券	1,706	1,865	+ 158

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内: 20/3末時点]

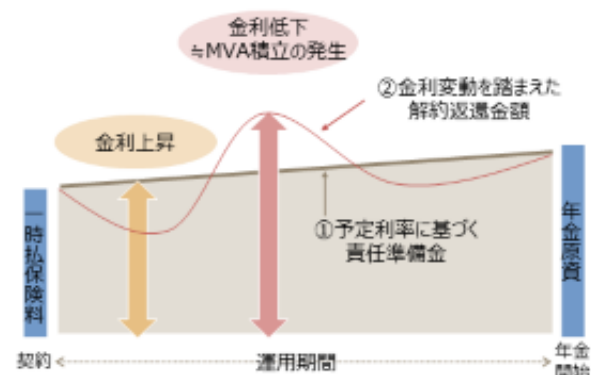


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます

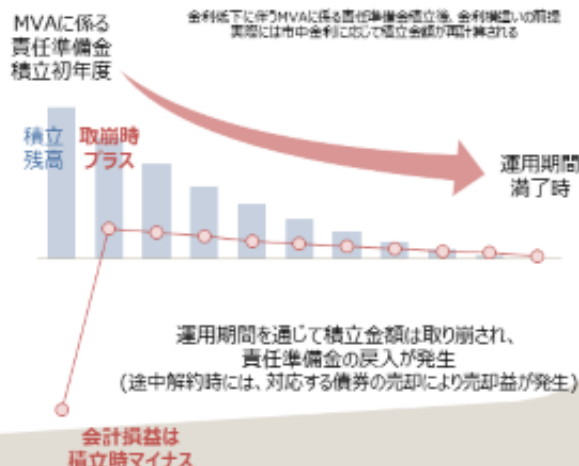


市場価格調整(MVA)に係る損益について

- ▶ 市場価格調整(MVA)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の
積立発生(イメージ)

各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と
会計損益への影響(イメージ)

米プロテクト 営業業績

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
リテール保険&年金事業	1,227	1,244	+ 16	+ 1%
伝統的保険	104	117	+ 13	+ 13%
ユニバーサル保険	55	22	△ 32	△ 59%
定額年金	958	1,010	+ 52	+ 5%
変額年金	109	93	△ 15	△ 15%
ステーブルバリュー事業	1,350	1,003	△ 347	△ 26%
アセットプロテクション事業	245	228	△ 16	△ 7%

豪TAL営業業績(1)

(百万豪ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
新契約年換算保険料	119	58	△ 61	△ 51%
(TAL) 個人保険	39	38	△ 0	△ 2%
団体保険	72	18	△ 54	△ 75%
アステロン・ライフ	8	2	△ 6	△ 74%
既契約増減	41	△ 54	△ 95	-
(TAL) 個人保険	69	56	△ 12	△ 19%
団体保険	△ 68	△ 178	△ 110	-
アステロン・ライフ	40	67	+ 27	+ 68%

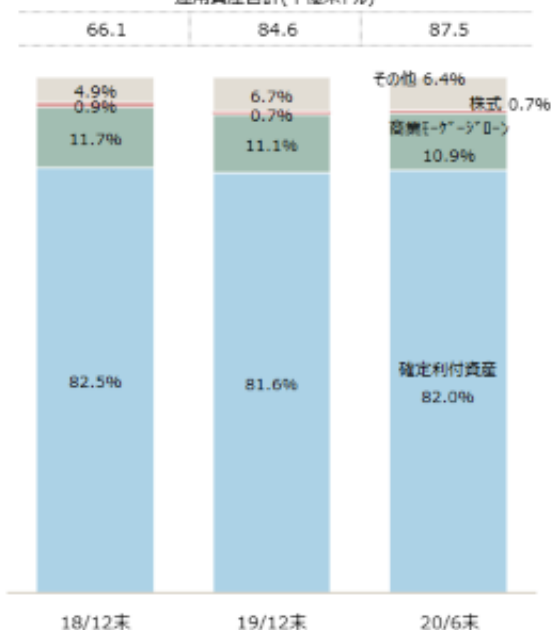
※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更し、従来含めていた既契約増減を除いています
過年度の数値も変更後の基準で記載しています

[米プロテクト] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(十億米ドル)

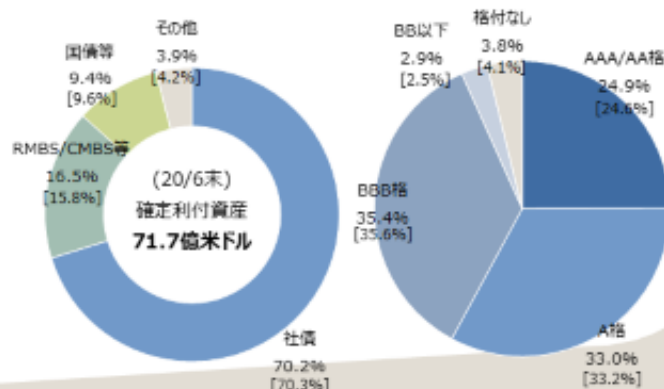


商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	19/12末	20/6末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	9,464	9,718	+ 254
不良債権	3	3	+ 0
貸倒引当金 ⁽²⁾	85	173	+ 88
(対ローン残高)	0.9%	1.8%	+ 0.88pts

確定利付資産の内訳および格付構成⁽³⁾

[括弧内: 19/12末時点]



(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 2020年1月より現在予想信用損失(CECL)を適用しており、19/12末の貸倒引当金は1/1時点の適用後残高を記載

(3) 非格付の債券は主にキャピテリズ子会社のサブファイナンスに係るもの

グループ修正利益

(億円)		No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 2Q累計	20/3期	21/3期 2Q累計
国内生命保険事業												
第一生命	当期利益	1	514	825	1,521	1,291	1,171	1,609	1,729	1,063	1,296	512
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定額過分、取極)	2	499	249	152	129	129	-	-	-	216	-
	調整 (2) 危険準備金繰入額 (法定額過分、取極)	3	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) 作業費積戻金 (MVA) 関連損益 (取極)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	499	340	189	125	127	△0	△14	△0	216	△0
	修正利益	7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,609	1,714	1,063	1,502	512
第一フロンティア生命	当期利益	8	△265	△152	△219	243	902	370	199	△412	△1,000	231
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定額過分、取極)	9	153	-	-	-	-	-	-	-	△300	-
	調整 (2) 危険準備金繰入額 (法定額過分、取極)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) 作業費積戻金 (MVA) 関連損益 (取極)	11	1	△9	469	75	△270	△79	7	867	1,935	△8
	調整 (4) 持分変動益 (MVA) 関連損益 (取極)	12	154	△9	469	75	△270	△79	7	867	1,635	△8
	調整額合計	13	△111	△161	249	318	232	291	267	454	634	222
	修正利益	14	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△67	△163	△77
ネオファースト生命	当期利益	15	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△67	△163	△77
	修正利益	16	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,450	1,974	658
海外保険事業												
プロアクティブ	修正利益	17	-	-	-	323	457	349	335	265	507	97
	TAL	18	89	86	121	103	127	105	98	36	110	51
海外保険事業修正利益												
アセットマネジメント事業												
修正利益												
持株会社	修正利益	21	-	-	-	-	0	3	△35	△26	△44	△20
連結調整	調整 (1) 受取配当報酬	22	17	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL優先株配当	23	-	-	-	-	-	-	10	4	8	3
	調整 (3) のれん償却額	24	38	51	86	63	56	70	82	40	564	27
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	25	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	26	-	-	-	-	△124	△335	-	-	-	-
	調整 (6) 米国税法人税減税	27	-	-	-	-	-	△901	-	-	-	-
	調整 (7) その他	28	△14	△1	△22	△3	0	39	23	△7	5	△30
グループ修正利益 (項番29=16+19+20+21-22-23)												
連結当期純利益 (項番30=29-6-12-24-25-26-27-28)												

2021年3月期 業績予想および業績予想の前提

- ▶ グループ修正利益は、新型コロナに伴う海外生保を中心とした利益低下等により、前期比△34%減少の1,800億円程度の減益を予想
連結純利益は、前期のDFLにおける市場価格調整(MVA)に係る評価性損失等から反転し、大きく改善する見通し
- ▶ 業績予想は、6月末金融環境、国内の新契約業績について、DL・DFLで前期比60~70%、NFLは80~90%程度を想定
グループ新契約価値は、営業制約や国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響し、前期比△41%減少の900億円程度を予想

通期業績予想および業績予想の前提

(億円)	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結総収益	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクト (百万米ドル)	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
米TAL (百万米ドル)	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクト (百万米ドル)	577	220	△ 357	△ 62%
米TAL (百万米ドル)	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益 ⁽¹⁾	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクト (百万米ドル)	463	180	△ 283	△ 61%
米TAL (百万米ドル)	154	70	△ 84	△ 55%
グループ修正利益	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
グループ新契約価値 ⁽²⁾	1,519	900程度	△ 619	△ 41%
1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益 ⁽³⁾	5,463	4,800程度	△ 663	△ 12%
第一生命	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

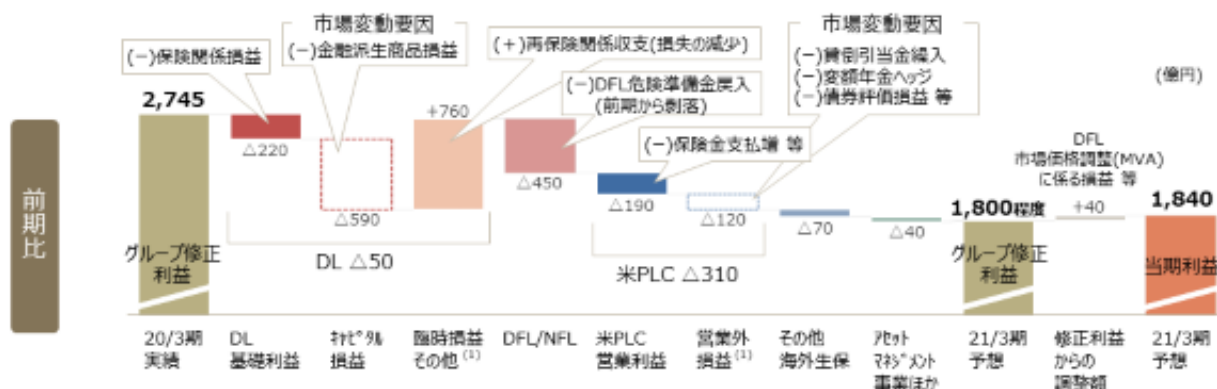
21/3期 通期業績予想の前提

金融環境	営業活動・保険金等の支払	その他前提
国内 生保	・ 営業活動は下期に概ね正常化 [新契約業績の前提] (2Q) 前年同期比40~50% (下期) 70~90% (年間) DL・DFL: 60~70% NFL: 80~90% 程度 ・ コロナ関連の保険金等支払いの影響は限定的	[DL] 新規再保険(出再)の実施 を想定し、臨時増資の発生 (約△160億円)を繰り込み
6月末 “償還し”	・ 米PLC・米TALともに、個人向け販売は概ね前期水準で推移する前提 [米PLC] ・ コロナ感染による米国の死亡者数 24万人までの影響を考慮 [米TAL] ・ コロナ関連の保険金支払いの影響 は限定的だが、暴落減速に伴う所 得補償保険等の支払増加を考慮	
海外 生保		

(1) 親会社株主に帰属する当期純利益 (2) アシアの持分会社3社(SUD・FDL・OLI)を含む
 (3) 第一フロンティア生命における21/3期1Qからの基礎利益の計上基準の変更に伴い、過年度の数値を変更後の基準で記載しています

2021年3月期 グループ修正利益予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では、DLおよび米PLCにおける金融市場変動に伴う利益押し下げ要因が大きく影響する見通し
- ▶ 対中計目標では、国内生保が概ね横ばいとなる一方で、新型コロナに伴う保険金支払の増加や金融市場変動の影響等を主因として海外生保事業が大幅に目標を下回る見通し

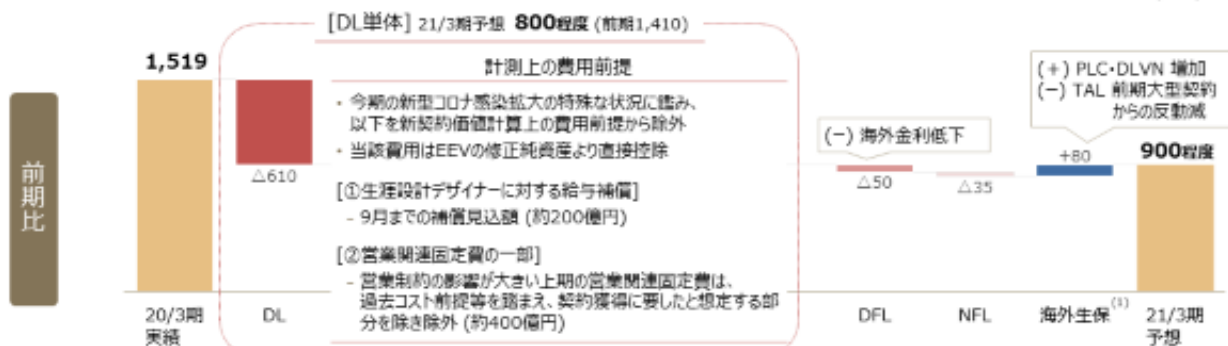


(1) 法人税等の変動を含む

2021年3月期 グループ新契約価値予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では新型コロナに伴う営業制約、対中計目標では加えて国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響する見通し
- ▶ DL新契約価値は800億円程度と予想し、新型コロナの特殊な状況に鑑み、生涯設計デザイナーの給与補償や営業関連固定費の一部(契約獲得に要した部分を除く)の合計約600億円を除外して計測予定(除外した費用はEEVの修正純資産より控除する予定)

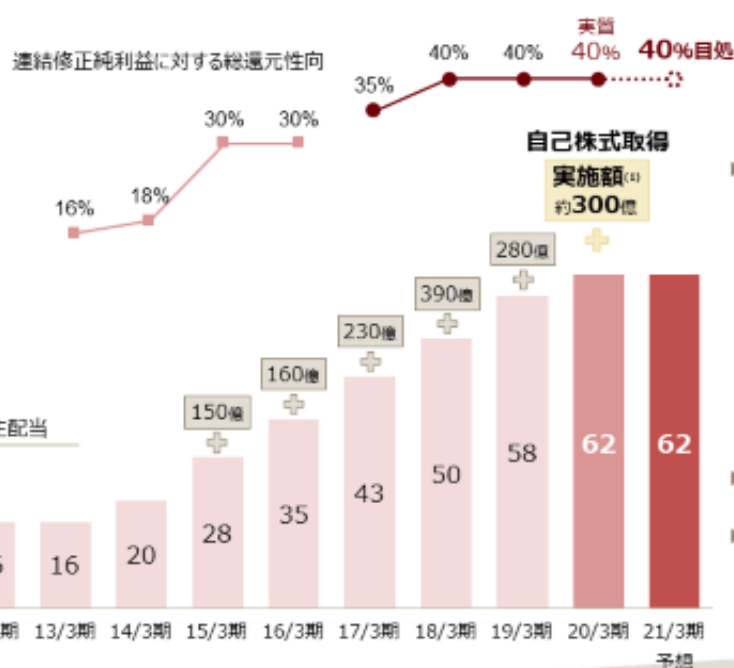
(億円)



(1) アジアの関連会社3社(SUD・POL・OLI)を含む

株主還元 (1株あたり株主配当・自己株式取得・総還元性向)

グループ修正利益に対する総還元性向



(1) 2020年8月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)



連結損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	36,561	33,631	△ 2,930
保険料等収入	24,588	21,012	△ 3,575
資産運用収益	10,538	11,526	+ 987
利息・配当金等収入	6,365	6,788	+ 423
有価証券売却益	1,690	1,900	+ 202
金融商品収益	-	-	-
為替差益	-	1,276	+ 1,276
特別勘定資産運用益	631	1,275	+ 644
その他収益	1,434	1,092	△ 342
経常費用	34,624	32,003	△ 2,621
保険金等支払金	24,724	21,879	△ 2,845
責任準備金等繰入額	801	3,018	+ 2,216
資産運用費用	4,172	2,479	△ 1,693
有価証券評価損	268	437	+ 168
有価証券評価損	146	167	+ 21
金融商品費用	192	602	+ 410
為替差損	3,026	-	△ 3,026
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	3,349	3,271	△ 78
経常利益	1,937	1,628	△ 308
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	119	134	+ 15
契約者配当準備金繰入額	409	368	△ 41
税金等調整前中間純利益	1,412	1,130	△ 282
法人税等合計	494	296	△ 197
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	917	833	△ 84

連結貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	600,119	628,048	+ 27,928
現金・コール	17,193	19,656	+ 2,463
貸入金債権	2,211	2,461	+ 250
有価証券	477,344	504,122	+ 26,778
貸付金	37,157	37,812	+ 654
有形固定資産	11,262	11,305	+ 43
繰延税金資産	118	83	△ 34
負債の部合計	562,350	584,563	+ 22,212
保険契約準備金	504,945	507,035	+ 2,090
責任準備金	495,208	496,335	+ 1,126
社債	11,353	11,191	△ 161
その他負債	27,231	44,388	+ 17,157
退職給付に係る負債	4,408	4,432	+ 23
価格変動準備金	2,407	2,521	+ 113
繰延税金負債	2,961	4,956	+ 1,994
純資産の部合計	37,769	43,485	+ 5,716
株主資本合計	16,415	16,106	△ 308
その他の包括利益累計額合計	21,343	27,369	+ 6,025
その他の有価証券評価準備金	22,831	28,804	+ 5,972
土地再評価準備金	△ 179	△ 187	△ 7

以下の項目については、責任準備金の繰入/繰入や関係する資産の売却/損等と相殺されるものを示す
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融商品収益/費用)

第一生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,070	17,821	△ 249
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749
資産運用収益	5,526	6,231	+ 705
利息・配当金等収入	3,885	4,120	+ 235
有価証券売却益	1,081	1,319	+ 237
金融派生商品収益	139	-	△ 139
特別勘定資産運用益	367	675	+ 307
その他経常収益	929	724	△ 205
経常費用	16,094	16,628	+ 533
保険金等支払金	10,435	9,187	△ 1,248
責任準備金等繰入額	1,070	1,953	+ 874
資産運用費用	1,264	2,414	+ 1,149
有価証券売却損	258	430	+ 172
有価証券評価損	142	79	△ 63
金融派生商品費用	-	1,262	+ 1,262
為替差損	499	264	△ 234
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	1,963	1,964	+ 1
経常利益	1,976	1,193	△ 783
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	90	106	+ 15
契約者配当準備金繰入額	409	368	△ 41
税引前中間純利益	1,480	723	△ 756
法人税等合計	416	210	△ 206
中間純利益	1,063	512	△ 550

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	364,935	386,533	+ 21,598
現金・コール	10,569	10,289	△ 280
貸入金債権	2,211	2,461	+ 250
有価証券	302,837	328,400	+ 25,562
貸付金	25,420	25,928	+ 507
無形固定資産	10,974	11,016	+ 42
繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	339,436	357,312	+ 17,876
保険契約準備金	308,234	310,102	+ 1,868
責任準備金	302,962	304,767	+ 1,804
危険準備金	6,284	6,316	+ 32
社債	4,762	4,762	-
その他負債	16,931	32,424	+ 15,492
退職給付引当金	3,980	4,035	+ 55
価格変動準備金	2,154	2,239	+ 85
繰延税金負債	795	2,483	+ 1,687
純資産の部合計	25,499	29,221	+ 3,721
株主資本合計	6,301	5,311	△ 990
評価・換算差額等合計	19,197	23,909	+ 4,712
その他有価証券評価差額金	19,164	23,963	+ 4,799
土地再評価差額金	△ 179	△ 187	△ 7

以下の項目については、責任準備金の繰入/繰入や繰戻する資産の含み益/損等と相殺されるものを示す
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	12,404	8,589	△ 3,814
保険料等収入	7,081	3,968	△ 3,112
資産運用収益	1,811	4,620	+ 2,808
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	-	1,540	+ 1,540
経常費用	12,788	8,289	△ 4,499
保険金等支払金	9,795	7,555	△ 2,240
責任準備金等繰入額	14	493	+ 479
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△134	△36	+ 98
危険準備金繰入額	△233	△3	+ 230
資産運用費用	2,607	6	△ 2,600
最低保証リスクに対するヘッジ損失	31	52	+ 20
為替差損	2,527	-	△ 2,527
事業費	321	197	△ 124
経常利益(△は損失)	△384	300	+ 685
特別利益	-	-	-
特別損失	28	28	△ 0
法人税等合計	0	41	+ 41
中間純利益(△は損失)	△412	231	+ 644

【参考】

中間純利益(△は損失)	△412	231	+ 644
最低保証リスク関連損益 ⁽¹⁾	△7	△21	△ 13
市場価格調整(MVA)による損益 ⁽²⁾	△964	△46	+ 918
事業利益	354	364	+ 10
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	205	△65	△ 270

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	89,471	92,988	+ 3,517
現預金・コール	2,727	4,133	+ 1,406
有価証券	74,278	74,825	+ 546
負債の部合計	86,941	89,890	+ 2,948
保険契約準備金	77,799	78,292	+ 493
責任準備金	77,598	78,090	+ 491
危険準備金	632	628	△ 3
純資産の部合計	2,529	3,098	+ 568
株主資本合計	499	731	+ 231
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,350	△1,118	+ 231
その他の有価証券評価差額金	2,029	2,367	+ 337

(1) 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及びヘッジ損益に加え、金融商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む
(20/3期2Q累計：△110億円、21/3期2Q累計：△5億円)

(2) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/繰入のり、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の繰入/繰入や関連する資産の増/減等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損、為替差益/損、金融派生商品の収益/費用)

損益計算書

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減
経常収益	6,378	4,938	△ 1,440
保険料等収入	2,887	2,911	+ 24
資産運用収益	2,957	1,644	△ 1,313
その他経常収益	533	382	△ 151
経常費用	6,073	4,826	△ 1,247
保険金等支払金	2,771	2,937	+ 166
責任準備金等繰入額	2,338	73	△ 2,264
資産運用費用	401	1,232	+ 830
事業費	469	462	△ 6
その他経常費用	93	119	+ 26
経常利益 (△は損失)	305	112	△ 192
特別利益	0	-	△ 0
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	58	21	△ 36
中間純利益 (△は損失)	246	90	△ 156

貸借対照表

(百万米ドル)	19/12末	20/6末	増減
資産の部合計	121,080	123,256	+ 2,175
現金	310	700	+ 390
有価証券	85,011	86,124	+ 1,112
貸付金	11,066	11,383	+ 316
有形固定資産	227	225	△ 1
無形固定資産	3,449	3,394	△ 55
のれん	825	825	-
その他の無形固定資産	2,596	2,535	△ 60
再保険費	12,836	13,114	+ 278
負債の部合計	111,840	113,480	+ 1,640
保険契約準備金	101,128	101,067	△ 60
再保険債	306	393	+ 86
社債	4,496	4,401	△ 95
その他負債	4,514	6,027	+ 1,512
純資産の部合計	9,239	9,775	+ 535
株主資本合計	7,856	7,576	△ 279
その他の包括利益累計額合計	1,383	2,198	+ 815

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

損益計算書

(百万圆ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	2,792	3,326	+ 534
保険料等収入	2,513	2,899	+ 385
資産運用収益	215	210	△ 5
その他経常収益	63	217	+ 153
経常費用	2,722	3,227	+ 504
保険金等支払金	1,838	2,474	+ 636
責任準備金等繰入額	288	203	△ 84
資産運用費用	32	18	△ 14
事業費	475	438	△ 36
その他経常費用	87	92	+ 5
経常利益 (△は損失)	69	98	+ 29
特別損益	-	-	-
法人税等合計	25	35	+ 9
中間純利益 (△は損失)	43	63	+ 19
基礎的収益力	49	66	+ 17

貸借対照表

(百万圆ドル)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	12,155	12,833	+ 677
現金	854	513	△ 340
有価証券	6,864	7,289	+ 425
有形固定資産	41	41	+ 0
無形固定資産	1,094	1,080	△ 13
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	308	294	△ 13
再保険費	293	305	+ 12
その他資産	2,830	3,493	+ 662
繰延税金資産	176	107	△ 69
負債の部合計	9,049	9,664	+ 614
保険契約準備金	7,406	7,956	+ 549
再保険債	434	553	+ 119
社債	248	247	△ 1
その他負債	959	906	△ 53
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,105	3,168	+ 63
株主資本合計	3,105	3,168	+ 63
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	974	1,038	+ 63

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)

[項目]	第一生命			第一フロンティア生命			ニッセイファースト生命			米プロパティーズ			東TAL			繰越		
	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,070	17,021	△ 249	12,404	8,589	△ 3,814	672	730	+ 57	6,875	5,320	△ 1,554	2,034	2,510	+ 476	36,561	33,631	△ 2,930
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749	7,081	3,968	△ 3,112	672	729	+ 57	3,112	3,136	+ 24	1,031	2,188	+ 1,157	26,588	21,012	△ 5,576
商品運用収益	5,526	6,231	+ 705	1,811	4,620	+ 2,809	0	1	+ 0	3,180	1,771	△ 1,409	150	158	+ 8	10,538	11,526	+ 987
利息・配当・手数料収入	3,085	4,123	+ 1,038	887	930	+ 43	0	1	+ 0	1,530	1,719	+ 189	24	7	△ 17	5,165	6,788	+ 1,623
外国証券売却益	1,080	1,318	+ 237	600	530	△ 70	-	-	-	35	30	+ 5	-	-	-	1,688	1,850	+ 162
金融資産売却益	138	-	△ 138	-	882	+ 882	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差損	-	-	-	-	1,540	+ 1,540	-	-	-	-	-	-	0	4	+ 4	-	1,276	+ 1,276
持分法による運用益	267	675	+ 408	253	680	+ 427	-	-	-	-	-	-	-	-	-	631	1,275	+ 644
その他収益等	929	724	△ 205	3,510	0	△ 3,510	0	0	△ 0	575	411	△ 163	46	163	+ 117	1,434	1,092	△ 342
経常費用	16,094	16,628	+ 533	12,788	8,289	△ 4,499	749	808	+ 57	6,546	5,199	△ 1,346	1,984	2,438	+ 452	34,624	32,003	△ 2,621
保険金等支払金	10,435	9,187	△ 1,248	9,795	7,555	△ 2,240	124	228	+ 103	2,666	3,355	+ 689	1,329	1,887	+ 558	26,721	21,879	△ 4,842
商品運用費用	1,078	1,953	+ 874	36	460	+ 424	67	404	+ 337	2,520	79	△ 2,441	20	153	+ 133	806	3,018	+ 2,212
商品運用費用	1,261	2,414	+ 1,153	2,607	6	△ 2,601	0	0	△ 0	433	1,320	+ 887	23	13	△ 10	4,172	2,679	△ 1,493
利息・配当・手数料支払	268	430	+ 162	1	1	+ 0	-	-	-	0	5	+ 5	-	-	-	268	437	+ 169
外国証券売却損	142	79	△ 63	-	-	-	-	-	-	4	88	+ 84	-	-	-	146	167	+ 21
金融資産売却損	-	1,262	+ 1,262	42	-	△ 42	-	-	-	289	222	△ 67	-	-	-	182	662	+ 480
為替差益	499	264	△ 234	2,527	-	△ 2,527	-	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	3,636	-	△ 3,636
持分法による運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他費用	1,952	1,951	+ 1	321	197	△ 124	125	129	+ 4	505	460	△ 45	395	330	△ 65	3,349	3,271	△ 78
経常利益（△は損失）	1,976	1,193	△ 783	△ 384	300	+ 685	△ 67	△ 77	△ 9	328	120	△ 207	50	74	+ 23	1,937	1,628	△ 308
特別利益	3	4	+ 0	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	-	-	3	4	+ 0
特別損失	90	106	+ 15	28	28	△ 0	0	0	+ 0	0	0	△ 0	-	-	-	119	134	+ 15
当期首配当準備金繰入額	409	368	△ 41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	409	368	△ 41
税金等調整後の当期利益	1,400	723	△ 676	△ 412	272	+ 685	△ 67	△ 77	△ 9	328	120	△ 207	50	74	+ 23	1,412	1,130	△ 282
法人税等合計	416	210	△ 206	0	41	+ 41	0	0	-	63	23	△ 39	18	26	+ 8	494	296	△ 197
少数株主利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益（△は損失）	1,083	512	△ 570	△ 412	231	+ 644	△ 67	△ 77	△ 9	265	97	△ 168	32	47	+ 15	917	833	△ 84

主要子会社別貸借対照表(要約)

項目	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			東プロダクティブ			東TAL			連結		
	20/3末	20/9末	増減	20/3末	20/9末	増減	20/3末	20/9末	増減	19/12末	20/3末	増減	20/3末	20/9末	増減	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	364,905	386,533	+21,598	89,471	92,988	+3,517	2,443	3,098	+654	132,655	132,796	+140	8,033	9,687	+1,654	600,119	628,040	+27,920
現金・預金	10,259	10,289	△30	2,727	4,133	+1,406	1,555	2,149	+594	310	755	+444	561	387	△176	17,193	19,656	+2,463
貸入金債権類	2,211	2,464	+250	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2211	2,464	+250
債権証券	332,637	328,400	+25,562	74,276	74,625	+349	358	467	+109	93,136	92,760	△376	4,506	5,502	+996	477,344	504,122	+26,778
貸付金	25,420	25,928	+507	-	-	-	7	10	+3	12,124	12,264	+140	11	12	+1	37,157	37,832	+674
貸付資産減価	10,971	11,016	+45	3	3	+0	2	2	△0	248	213	△35	27	31	+4	11,262	11,305	+43
貸付資産減価	1,143	1,152	+9	92	103	+10	17	27	+10	3,779	3,687	△92	723	815	+92	4,729	4,820	+90
貸付資産減価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	116	81	△35	116	81	△35
負債の部合計	339,436	357,312	+17,876	86,941	89,990	+2,948	2,411	2,842	+430	122,532	122,264	△268	5,822	7,114	+1,292	562,350	584,503	+22,152
貸付資産準備金	338,231	310,102	+1,866	77,799	76,292	+493	2,360	2,765	+404	110,766	108,890	△1,876	4,865	6,035	+1,170	50,645	50,235	+2,090
貸付資産準備金	338,231	310,102	+1,866	77,799	76,292	+493	2,360	2,765	+404	110,766	108,890	△1,876	4,865	6,035	+1,170	50,645	50,235	+2,090
負債	4,762	4,762	-	-	-	-	-	-	-	4,766	4,766	△4	361	186	+22	11,333	11,391	△58
その他負債	18,931	32,424	+15,492	2,205	2,303	+97	47	43	△4	4,945	6,409	+1,464	475	503	+27	27,231	41,268	+14,037
貸付資産準備金	3,980	4,035	+55	-	-	-	-	-	-	97	92	△5	-	-	-	4,426	4,432	+6
貸付資産準備金	2,151	2,229	+78	253	281	+28	0	0	+0	-	-	-	-	-	-	2,427	2,521	+94
貸付資産準備金	795	2,483	+1,687	769	920	+151	-	0	+0	1,431	1,622	+190	-	-	-	2,961	4,956	+1,994
純資産の部合計	25,469	29,221	+3,751	2,529	3,098	+568	32	254	+222	10,123	10,531	+408	2,211	2,573	+362	37,769	43,496	+5,726
純資産の部合計	6,304	5,311	△990	499	731	+231	32	254	+222	9,180	9,859	△679	2,879	2,927	+47	16,415	16,106	△308
その他利益剰余金	19,140	23,909	+4,769	2,029	2,367	+337	△0	1	+1	942	1,492	+550	△668	△354	+314	21,343	27,389	+6,045
その他利益剰余金	19,140	23,909	+4,769	2,029	2,367	+337	△0	1	+1	1,589	2,411	+822	-	-	-	22,831	28,894	+6,063
その他利益剰余金	△179	△187	△8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△179	△187	△8

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	20/3末	20/9末	増減
ソルベンシー・マージン総額 (A)	74,466	82,682	+ 8,216
資本金等 ⁽¹⁾	12,260	12,692	+ 431
価格変動準備金	2,407	2,521	+ 113
危険準備金	6,931	6,962	+ 30
一般貸倒引当金	1	3	+ 1
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)- 繰延ヘッジ損益(税効果控除前)) × 90% (マイナスの場合100%)	28,261	35,601	+ 7,339
土地の売却利益 × 85% (マイナスの場合100%)	2,438	2,522	+ 83
未認識取引計算上の差異及び未認識過去勘別帳費用の合計額(税効果控除前)	△377	△348	+ 29
金融リルズ式責任準備金相当額超過額	22,707	22,963	+ 256
負債性資本調達手段等	9,092	9,092	-
金融リルズ式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに 算入されない額	△7,620	△7,279	+ 340
控除項目	△2,411	△2,838	△ 426
その他	774	790	+ 15
リスクの合計額 (B) $\{ [(R_1 + R_2) + R_3 + R_4]^2 + (R_5 + R_6 + R_7) \} + R_8 + R_9$	16,844	18,270	+ 1,426
保険リスク相当額 R_1	1,324	1,392	+ 67
一般保険リスク相当額 R_5	48	48	△ 0
巨災災害リスク相当額 R_6	14	13	△ 0
第三分野関係の保険リスク相当額 R_8	1,923	1,934	+ 10
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	-	-	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,457	2,396	△ 60
繰上保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	706	663	△ 43
資産運用リスク相当額 R_3	12,952	14,466	+ 1,513
経営管理リスク相当額 R_4	388	418	+ 29
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	884.1%	905.0%	+20.9%

(1) 社外債出資金及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。